



## 平成30年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年11月13日

上場会社名 野村マイクロ・サイエンス株式会社

上場取引所 東

コード番号 6254 URL <http://www.nomura-nms.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長兼最高執行責任者 (氏名) 八巻 由孝

問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長兼最高財務責任者 (氏名) 横川 収

TEL 046-228-5195

四半期報告書提出予定日 平成29年11月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	7,250	24.2	115		124		80	
29年3月期第2四半期	5,837	25.3	153		460		474	

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 181百万円 ( %) 29年3月期第2四半期 680百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	8.93	8.88
29年3月期第2四半期	53.44	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第2四半期	17,521	7,856	44.7	865.54
29年3月期	16,606	7,756	46.4	861.75

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 7,827百万円 29年3月期 7,701百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		0.00		15.00	15.00
30年3月期		0.00			
30年3月期(予想)				15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,000	9.4	690	10.3	689	7.6	508	26.5	56.26

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は、当四半期累計期間において自己株式の処分(新株予約権の行使請求に対応するため自己株式を交付)を行っており、平成30年3月期の「1株当たり当期純利益」については、当該自己株式の処分の影響を考慮して算出しております。

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期2Q	10,152,000 株	29年3月期	10,152,000 株
期末自己株式数	30年3月期2Q	1,108,035 株	29年3月期	1,214,535 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期2Q	9,022,798 株	29年3月期2Q	8,886,965 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法について)

当社は、平成29年11月16日(木)に機関投資家及びアナリスト向け決算説明会を開催する予定です。この決算説明会で配付する資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する説明	2
(2) 連結財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境が改善傾向にあるなど、緩やかな回復基調で推移いたしました。また、世界経済は緩やかに回復しているものの、中国をはじめとする新興国経済の先行きやアメリカの政策動向、世界的な地政学的リスクの高まり等の懸念により、先行き不透明な状況が続きました。

当社グループの業績に影響を及ぼす半導体業界は、Semiconductor Equipment and Materials International (SEMI) が発表した2017年第2四半期の半導体製造装置出荷額によると、3D-NAND、DRAM等メモリー分野を中心に投資が拡大したことを背景に、韓国で前年同期比212%増、日本で47%増、中国で11%増、世界全体で35%増となるなど好調に推移いたしました。また、液晶ディスプレイ市場では、堅調なパネル需要を背景に、韓国・中国を中心に大型パネル向けや有機EL向けの投資が継続いたしました。

このような状況下、当社グループは海外では半導体・液晶関連企業、国内では製薬関連企業や半導体関連企業を中心に積極的な営業活動を展開するとともに、中国貴州省の浄水・汚水処理事業の事業化に向けた準備を進めてまいりました。

これらの事業活動により、水処理装置については、国内の製薬関連・半導体関連企業及び韓国、中国・台湾の半導体並びに液晶関連企業から受注した水処理装置案件の工事が進捗し、売上高は36億3千万円（前年同期比27.4%増）となりました。また、メンテナンス及び消耗品については、半導体関連企業からの受注が増加したこと等により、売上高は31億5千6百万円（同17.3%増）となり、その他の事業については、配管材料の受注増加等により売上高は4億6千3百万円（同55.2%増）となりました。

利益面につきましては、増収効果により、営業利益段階での黒字を確保いたしました。

以上の結果、売上高は72億5千万円（同24.2%増）、営業利益は1億1千5百万円（前年同期は1億5千3百万円の営業損失）、経常利益は1億2千4百万円（前年同期は4億6千万円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純利益は8千万円（前年同期は4億7千4百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

## (2) 連結財政状態に関する説明

当第2四半期末の総資産は、前連結会計年度末に比べて9億1千4百万円増加し、175億2千1百万円となりました。これは主に、仕掛品が8億2百万円増加したこと等によるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べて8億1千4百万円増加し、96億6千5百万円となりました。これは主に、短期借入金が10億2千3百万円、流動負債のその他が6億2千3百万円それぞれ増加した一方で、支払手形及び買掛金が8億6百万円減少したこと等によるものであります。

また、純資産については、前連結会計年度末に比べて9千9百万円増加し、78億5千6百万円となりました。これは主に、その他有価証券評価差額金が1億6百万円増加したこと等によるものであります。

## (キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度に比べ4千7百万円増加し、46億1千2百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は、7億3千万円（前年同期は3億2千5百万円の獲得）となりました。これは主に、たな卸資産の増加が8億2千7百万円となったこと等によるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、1億3千9百万円（前年同期は9千9百万円の使用）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出が1億3千3百万円となったこと等によるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果獲得した資金は、9億1千5百万円（前年同期は6億1千1百万円の獲得）となりました。これは主に、短期借入金の借入れによる収入9億9千8百万円となったこと等によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の連結業績予想につきましては、平成29年5月12日に公表しました連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,178,752	5,227,270
受取手形及び売掛金	5,471,226	5,241,073
電子記録債権	569,438	408,299
商品及び製品	79,280	89,285
仕掛品	394,966	1,197,044
原材料及び貯蔵品	202,080	207,082
その他	956,564	1,092,616
貸倒引当金	△102,768	△97,966
流動資産合計	12,749,539	13,364,705
固定資産		
有形固定資産	2,775,046	2,899,256
無形固定資産	15,712	14,497
投資その他の資産	1,066,503	1,243,169
固定資産合計	3,857,262	4,156,923
資産合計	16,606,801	17,521,629
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,579,012	1,772,255
短期借入金	3,934,090	4,957,219
未払金	761,213	638,491
未払法人税等	147,376	118,879
製品保証引当金	104,850	105,565
工事損失引当金	21,064	92,741
賞与引当金	156,094	160,203
役員賞与引当金	25,454	7,147
資産除去債務	51,827	45,006
その他	564,335	1,188,109
流動負債合計	8,345,320	9,085,620
固定負債		
退職給付に係る負債	68,654	70,112
役員退職慰労引当金	217,126	226,654
損害賠償引当金	33,795	14,486
その他	185,404	268,307
固定負債合計	504,980	579,561
負債合計	8,850,301	9,665,182

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,236,800	2,236,800
資本剰余金	2,018,142	2,045,819
利益剰余金	3,414,227	3,360,812
自己株式	△582,388	△531,319
株主資本合計	7,086,782	7,112,112
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	81,894	188,503
為替換算調整勘定	533,197	527,326
その他の包括利益累計額合計	615,092	715,830
新株予約権	48,499	28,505
非支配株主持分	6,126	—
純資産合計	7,756,500	7,856,447
負債純資産合計	16,606,801	17,521,629

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	5,837,921	7,250,316
売上原価	4,626,651	5,768,541
売上総利益	1,211,269	1,481,774
販売費及び一般管理費	1,365,230	1,366,168
営業利益又は営業損失(△)	△153,960	115,606
営業外収益		
受取利息	6,860	10,087
受取配当金	8,392	8,477
受取家賃	10,441	10,521
保険返戻金	—	17,217
その他	3,159	2,869
営業外収益合計	28,854	49,173
営業外費用		
支払利息	13,214	16,044
持分法による投資損失	312	—
為替差損	320,316	22,760
その他	1,308	1,145
営業外費用合計	335,151	39,950
経常利益又は経常損失(△)	△460,257	124,828
特別利益		
固定資産売却益	213	—
新株予約権戻入益	610	—
受取保険金	4,105	—
特別利益合計	4,929	—
特別損失		
固定資産除却損	12	877
関係会社株式売却損	6,872	—
ゴルフ会員権評価損	875	—
特別損失合計	7,760	877
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△463,087	123,951
法人税等	12,021	43,408
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△475,109	80,542
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△170	△103
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△474,938	80,646

(四半期連結包括利益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位: 千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△475,109	80,542
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	37,378	106,608
為替換算調整勘定	△241,175	△5,833
持分法適用会社に対する持分相当額	△1,909	—
その他の包括利益合計	△205,706	100,774
四半期包括利益	△680,815	181,317
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△679,764	181,384
非支配株主に係る四半期包括利益	△1,051	△66



## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△463,087	123,951
減価償却費	113,450	89,673
のれん償却額	2,680	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△14,503	△4,889
賞与引当金の増減額(△は減少)	26,357	3,979
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	7,649	△18,156
製品保証引当金の増減額(△は減少)	△12,358	1,535
工事損失引当金の増減額(△は減少)	65,830	71,677
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△8,658	△13,099
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	19,935	9,528
受取利息及び受取配当金	△15,253	△18,565
保険返戻金	—	△17,217
受取保険金	△4,105	—
支払利息	13,214	16,044
為替差損益(△は益)	33,167	△13,948
持分法による投資損益(△は益)	312	—
固定資産売却損益(△は益)	△213	—
固定資産除却損	12	877
関係会社株式売却損益(△は益)	6,872	—
ゴルフ会員権評価損	875	—
新株予約権戻入益	△610	—
売上債権の増減額(△は増加)	764,282	407,172
たな卸資産の増減額(△は増加)	△430,094	△827,842
前渡金の増減額(△は増加)	△46,685	15,683
その他の資産の増減額(△は増加)	175,127	△72,199
仕入債務の増減額(△は減少)	△290,986	△818,503
未払消費税等の増減額(△は減少)	△23,256	△54,238
前受金の増減額(△は減少)	333,351	629,991
その他の負債の増減額(△は減少)	107,610	△159,536
小計	360,915	△648,082
利息及び配当金の受取額	17,845	18,163
利息の支払額	△11,322	△15,847
法人税等の支払額	△38,434	△82,643
保険返戻金の受取額	—	17,217
保険金の受取額	4,105	—
損害賠償金の支払額	△7,639	△19,309
営業活動によるキャッシュ・フロー	325,470	△730,500

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△48,858	△133,368
有形固定資産の売却による収入	293	—
定期預金の預入による支出	△246,757	△274,000
定期預金の払戻による収入	200,000	274,500
敷金及び保証金の差入による支出	△14,154	△25,389
敷金及び保証金の回収による収入	16,134	18,586
保険積立金の積立による支出	△534	△534
貸付けによる支出	△150	—
貸付金の回収による収入	18,364	100
その他	△24,012	401
投資活動によるキャッシュ・フロー	△99,675	△139,705
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	1,375,580	998,997
短期借入金の返済による支出	△727,679	—
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	—	△7,632
リース債務の返済による支出	△9,696	△3,493
自己株式の処分による収入	—	60,224
配当金の支払額	△26,437	△132,328
財務活動によるキャッシュ・フロー	611,765	915,767
現金及び現金同等物に係る換算差額	△121,185	2,160
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	716,374	47,722
現金及び現金同等物の期首残高	3,682,901	4,564,818
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,399,276	4,612,540

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計
	日本	アジア	アメリカ	計	
売上高					
外部顧客への売上高	3,707,723	2,112,206	17,992	5,837,921	5,837,921
セグメント間の内部売上高 又は振替高	546,123	73,237	—	619,360	619,360
計	4,253,846	2,185,443	17,992	6,457,281	6,457,281
セグメント損失(△)	△123,170	△27,997	△2,792	△153,960	△153,960

(注) セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

## II 当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計
	日本	アジア	アメリカ	計	
売上高					
外部顧客への売上高	4,251,531	2,719,625	279,159	7,250,316	7,250,316
セグメント間の内部売上高 又は振替高	720,357	129,486	—	849,844	849,844
計	4,971,889	2,849,112	279,159	8,100,161	8,100,161
セグメント利益又は損失(△)	△77,358	128,657	64,307	115,606	115,606

(注) セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。